

## 埼玉医科大学短期大学の IR(Institutional Research)について

### 【概要】

埼玉医科大学短期大学では、埼玉医科大学事務組織規程に基づき、事務部学務課が IR を担当している。

IR は全学 IR 委員会、自己点検・評価委員会と事務部学務課が連携し活動している。

### 【活動内容】

事務部学務課は、全学 IR 委員会、自己点検・評価委員会の方針に基づき、IR 業務に関する活動を行っている。活動の結果を IR 委員会、自己点検・評価委員会等に報告し、本学の運営や教育の基本方針等に活用している。

具体的な IR 活動の一例として、毎年、入学時に看護学科はプレイスメントテストを実施し、専攻科は看護師知識の確認テストを実施し、基礎学力の状況を把握している。年度末には、看護学科、専攻科ともにアセスメントテストを実施し、専門的知識の習得状況を分析している。アセスメントテストでは、一部の分野で得点の低い傾向が続いているため、学生の不得意な学習内容として教員に周知し、教育内容・教育方法の改善の参考にしている。看護学科は、プレイスメントテストが高得点の学生は、アセスメントテストや GPA も高いレベルを維持しており、プレイスメントテストが低い学生は、アセスメントテストや GPA も低いレベルにある傾向が見られている。このことから学生の傾向を早期に把握し、学修成果を高められるように早期から個別支援を行っていくことの必要性が示唆された。専攻科の看護師知識の結果は、入学者の看護基礎教育課程の背景による影響がみられる。回答率の低い知識が把握できることで、事前学習への働きかけの必要性が示唆された。また、大学・短期大学基準協会による短期大学生調査も毎年実施し、結果を分析している。このように、データを収集・分析した結果を、教学の改善に活用している。